

あなたと市政をつなぐ情報紙 市民派無所属

府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政  
通信

毎日ブログ更新中

ゆうきりょう

電話 090-4136-7642



## 府中市の基地跡地留保地の活用計画 大幅な見直しへ

### 大型スタジアム建設については将来の財政負担、予算への影響も考えて慎重な判断を

府中市浅間町にある米軍府中基地跡地（約15ヘクタール）の利用について、府中市議会でも活用計画について議論されてきましたが、現在その計画の大幅な見直しに向け動き始めています。この件で日経インターネットニュース（3月29日付）では以下のように報じています。

#### 根強くある大型スタジアム建設待望論

同ニュースでは「（計画には）米軍の通信施設が残る前提で、商業施設は大型ショッピングセンター（SC）の出店、運動施設は老朽化した総合体育館の移設が柱」であったとし、「高野市長は『通信施設部分を含む土地の一括利用が可能になった以上、計画は見直すべきだ。市民や議会とも協議を進めていきたい』と強調」と伝えています。また記事では運動施設の動向について注目し、「府中市はラグビー2チームを抱え、大型スタジアム建設の待望論がある」「『陸上の公式大会が開ける400メートルトラックを備えた競技場の設置を求める声も多い』（高野市長）など、広大な用地をスポーツ振興に生かすべきだとの意見は根強い」と報じています。



スタジアム建設の待望論がある」「『陸上の公式大会が開ける400メートルトラックを備えた競技場の設置を求める声も多い』（高野市長）など、広大な用地をスポーツ振興に生かすべきだとの意見は根強い」と報じています。

なことは、将来にわたるその維持管理、修繕費用についてです。例えば現在も府中市には1990年代初頭に建設された府中の森芸術劇場、府中市美術館、生涯学習センターなどがあり、開設から30年をむかえた今日、今後はその維持管理と修繕費が大きくかかってきます。さらに今後、大型スタジアムの建設となると、長期にわたりそうした維持管理費用が当然かかるわけです。

#### 企業の経営動向に左右されてきた社会人スポーツチームの歴史

「ラグビー2チームを抱え、大型スタジアム建設の待望論がある」（日経記事）ことについてですが、私も大型スタジアム建設に「先に反対ありき」ではありませんが、ただしそのリスクも慎重に検討するべきと考えています。企業は「経営上必要ない」と判断すればスポーツチームを簡単に廃部や休部にしてしまうことはこれまでも多々ありました。市内にある社会人ラグビーチームについては、東芝の経営動向など不安要素があることも懸念材料の1つです。また隣の調布市にある「味の素スタジアム」とも競合します。

#### 今後1990年代初頭に建設した公共施設の維持管理費用がかさむ

大型スタジアム建設については、ニュースのなかで市の担当者も指摘していますが、資金面で府中市単独では困難と思われる。また心配

## 公共施設の維持管理費が「予算の硬直化」の原因とさせないために・・40年前と違う国力の実態も見据えて

府中市には他市にない素晴らしい公共施設が多々ありますが、さらに大型スタジアム建設となると、今ある公共施設の維持管理費の上にさらに多くのしかり、「予算の硬直化」（公共施設の維持管理などに占める予算割合が高まり固定化し、市民生活への予算配分が限定され、弾力性が失われる）も懸念されます。

前提条件として、わが国が30～40年前のように人口が増え、経済も順調に成長し、税収も増加となる社会が展望できる情勢であればいいのですが、今日の日本は人口減少、高齢化、税収減、格差社会、産業競争力低下、また通貨である「円」の価値は50年前の実力といわれ、国力全体が減退、今後も厳しい情勢です。こうした日本の将来も十分に見据えたうえで、基地跡地の活用計画は慎重に検討していくべきです。もし同跡地に大型スタジアムを建設するのであれば、既存の市の公共関係施設について固定経費削減のために「スクラップ&ビルド」（民間売却、統廃合など）も視野に入れることを検討するべきではないでしょうか。

ちなみにこの日経ニュースによると、「利用計画取りまとめ時は10年後の2030年ごろをメドに、跡地の整備を進めるのが目標だったが、高野市長は『2～3年遅れても構わない。22年度に整備を進める本部組織を市に設けて、計画見直しを進めたい』としている」とあります。時間はまだあるだけに、最低50年先は見据えた計画案の検討を求めたいと思います。

#### 大規模民間商業施設の計画は中止にすべき

また基地跡地活用計画の商業施設建設について「『コロナ禍において、インターネットでモノを買う風潮も強まる中、競合が激化する』（高野市長）との懸念がある。地元経済界にも『跡地周辺の消費で完結する程度の規模の商業施設でいいのではないかと』（むさし府中商工会議所）との指摘がある」とのことです。この点私も同意見であり、同跡地に計画している大規模民間商業施設の建設については、その見直し（中止）をすべきです。

#### 基地跡地には療養型病院と幼老複合病院施設の建設を望みたい（市民の声より）

府中市基地跡地の活用計画について、療養型病院と幼老複合施設の呼び込みはどうかと考えました。府中市内は療養病床がやや少なく、急性期病院（多摩総合病院）からの市内完結型の医療提供があれば、嬉しいですね。その周辺には杏林大学病院、慈恵医大、榎原記念病院などもありますから、大型療養病院は市民からも重宝されると思います。また幼老複合病院施設を加えることで、将来のモデルケースになりうるのではないのでしょうか。また大型スタジアムの建設は、調布市の「味の素スタジアム」と競合します。ラグビーもいいですが、市の長期的財政運営の視点で考えると何が良いのか、市全体で考えるべきだと思います。（市民の方からの投稿より）



### 朝の駅頭市政報告について

私の朝の駅頭あいさつについて、原則、毎朝下記の予定で行っています。駅頭では「市政通信」を配布しています。市政相談、生活相談なども受け付けています。なお雨天時や、自身の都合により中止の場合もあります。お気軽にお声をおかけください。（朝8時まで）

月曜・西武線多摩駅東口、火曜・予備日、水曜・京王線東府中駅北口、木曜・西武線多摩駅西口、金曜・京王線多摩霊園駅北口

ゆうきりょうに市政などへのご意見、ご要望、苦情などお寄せください。アドレス yuki4551@ozzio.jp 電話 090-4136-7642 住所 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202 ※電話の場合は、留守電にコメントを入れてください（電話にでられない場合があります）。※ゆうきりょうはブログを毎日更新していますので、ぜひご覧ください。「ホームページ検索→ゆうきりょう」

ゆうきりょう



#### ゆうきりょう のラジオパーソナリティ番組

FM府中（ラジオフューズ、87.4MHz）「府中市議会議員 ゆうきりょう 市民の風」、毎週火曜日22時45分から6分間放送、日曜日も再放送。市政の動きなど情報を発信中。ぜひお聴きください。



# 急激な物価高騰が子どもの教育関係費に重くのしかかる今日、行政はなにをすべきか

## 4年前と比較して約1万円値上がりしている学生服セット

先日朝日新聞社会面に子供を学校に通わせている子育て家庭にとって「出費がかさむ春」との見出しで、今年はさらに急激な物価高が重なり、家計が苦しくなっている状況について伝えています。この記事では「4年前と比べても1万くらいは値上がりしている」というパート女性の声について、今春に中学に入学する息子さんの制服と、現在高校2年生の長男の価格と比べると、ワイシャツ、ベルト、ブレザー、スラックスなど合計約1万円値上がりしているといいます。また都内23区の制服販売店も「この春、値上げをした」として「生地値段が約10から15%上がったから」とし、このような値上げが全国で相次いでいるとあります。

## 就学援助費について、物価高騰時におけるあり方について国も是正策を

こうしたなか記事では、就学援助費について自治体が支払う就学援助費は国の基準に準じるところが多く、「ある自治体の担当者は『物価変動などで保護者の支出が支給額をうまわる場合もある』」とし、「就学援助費を超える状況になっているのではないかと推察しています。この点について大学教授の方は「就学援助でも教育費をまかなえない状況は是正すべ

きだ」とし、「物価が急に上がっても支給額を上回らないようにする必要はある」と指摘。恐らく府中市内でお子さんを小中学校に通学させているご家庭も、このような状況に直面されていると思われます。

## 府中市は学校給食の主食を価格が値下がり傾向のお米にウエイトを移して

物価高騰をうけ、小中学校の給食費の値上げをする自治体も増えています。そこで給食メニューに大きな影響を与えるのがパン類です。小麦はロシアやウクライナが産出国であり影響が大きいなか、日本国内で価格の下落傾向している食料がお米で、「近年は剰余生産となり、価格も下落傾向」とであると農水省も発表しています。私は府中市議会（予算特別委員会）において、「マスコミ報道によるとパンや麺類は、この夏場にかけて価格が上昇する見通し」とあることから、「この際、食育の観点からも給食に占めるお米のウエイトを増やしてはどうか」と要望しました。今後の府中市の学校給食の動向に注視したいと思います。



# 府中市が「不登校特例校」の設置へ・児童、生徒の不登校対策を総合的に推進

## 武蔵台小学校の児童数より多い、府中市内の児童、生徒の不登校者の人数

府中市では児童、生徒の学びの機会を保障するための支援策について、第1回市議会定例会における高野市長の市政運営方針のなかで「（不登校児童、生徒に対する）相談体制を拡充するとともに、関係機関とも連携しながら、きめ細かい支援を実施」「不登校対策では、不登校特例校の設置を含む対策を総合的に推進します」（広報ふちゅう、4月1日号より）との説明がありました。現在、府中市内の児童、生徒の不登校の人数は300人を大きく超える人数とのこと。これは武蔵台小学校1校の児童数（270人強）を超える人数になります。大変驚きですがこれが実態です。

## 3年後に新しい教育センターの竣工とあわせて設置を予定

府中市からは以前、市議会において「不登校特例の設置にむけて検討をすすめている」という報告がありました。「不登校児童、生徒を対象とする特別に編成された教育課程にもとづく教育を行う学校（不登校特例校）の設置について検討を進めてきた」とし、場所については市立教育

センター内に特例校を設置するとしています。なお市立教育センターについては現在の施設が老朽化していることから、新しい教育センターに設置するとしています。新教育センターの設置予定地は「清水が丘1-3」（東府中駅南口の近く）です。

他の自治体においても「不登校特例校」を設置する市も増えています。教育を受ける権利が日本国憲法において保障されている児童、生徒さんたちが、「不登校」というかたちで学ぶ機会を失うことは元来、あってはならないことです。ぜひ議会においても保護者の方々からの要望なども伺い、取り上げたいと考えています。



学校のイメージ写真

## 街の話題

### 府中市内の土地が住宅地、商業地ともに多摩地域で一番の地価上昇率

3月23日付新聞朝刊各紙で、都内の地価上昇率についての記事が掲載されていますが、多摩地域における住宅と商業地でいずれも府中市の土地が上昇率で第1位となっています。住宅地では、「白糸台6-3-8」で上昇率は3.9倍、価格は1平方あたり34万3千円。場所は旧甲州街道と品川街道沿いの場所で、府中市と調布市の境目付近のあたり。京王線武蔵野台駅と飛田給駅のちょうど真ん中あたりに位置する箇所です。

また商業地では、「清水が丘1-9-50」で上昇率は3.8倍、価格は1平方あたり60万円、場所は京王線・東府中駅南口付近で競馬場通り沿い。また多摩地域での2位は「八幡町2-21-9」で、旧甲州街道沿い（八幡町2-19、八海ラーメン付近）です。これは東京都が土地取引の指標となる公示地価を公表したもので、都内全域の平均変動率は前年比0.9%の上昇（朝日新聞）。この記事では都の担当者の声として「コロナ禍のもと、自宅で過ごす時間が増え、ゆとりにある住宅のニーズが高まった。比較的交通の便がよく、住宅価格も都心より安い地域で上昇が目立った」としています。



清水が丘1-9付近

## 府中市がJR府中本町駅と西府駅にホームドア整備費用に対する補助金を計上

府中市は7733万円（東京都が3866万円、他3600万円）を令和4年度予算で計上します（西府駅については令和5年度に補助を予定）。以前も私は市議会の一般質問で、府中市内の駅に安全ホームドアの設置を質疑で、市から鉄道会社に設置するように要望していましたが、今後はぜひ京王線のホームについても、早期に実施するよう要望したいと思います。

## 府中市が「在宅障害者（児）緊急一時保護事業費」として、106万円を計上

府中市の令和4年度予算において、「在宅障害者（児）緊急一時保護事業費」として、106万円を計上しています。内容は重度心身障害者等を介護している介護者などが新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触者となり介護ができなくなった場合に、市がヘルパーを派遣する事業です。

この点で私は府中市への新年度予算要望書のなかで「府中市でも介護が必要なお年寄りや、障害をもつ人の家族が新型コロナに感染して介護ができなくなった際、短期的に預かる『ショートステイ』ができるよう、検討してください」と要望していました。今後も支援サービスの拡充など求めていきます。

